

行動する市議会議員 無所属・31才

すがわら 通信⑫



発行 すがわら文仁(ふみひと)後援会 戸田市美女木 8-21-6

19年度予算に対して情熱込めて討論中！



県内若手議員たちと駅頭活動中！



すがわらの行動にメディアも注目！

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ 全てのメディアに取り上げられました！

フジテレビ(2月11日放映)

「スタメン」

朝日新聞(3月19日全国版)

「特集・ロストジェネレーション」

リクルート(3月23日号)

「R25」

ニッポン放送ラジオ(4月27日放送)

「高島ひでたけの夕焼けホットライン」他



プロフィール 菅原文仁(すがわら ふみひと)

昭和50年7月30日生まれ 獅子座 A型 31歳

美谷本小 美笹中 伊奈学園総合高 日体大卒 明大院在学(公共政策)

中高教員免許取得(保健体育) 若手政治家養成塾事務局長 埼玉坂本龍馬会幹事

【趣味】旅行 読書 音楽 B級グルメ探求

【特技】バク転 スキー 手品

【好きな言葉】為せば、成る(上杉鷹山)

【夢】努力した人が報われる社会の実現！

【家族】父(高校教諭)母(スポーツ指導者)犬(エディ)

メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com



地方分権と自治体ガバナンス

多くの方が、今年の1月からの所得税が減り、6月からの住民税が増える事になりました。()これは、国の進める地方分権の流れによるものです。地方分権により、戸田市も「自己決定、自己負担、自己責任」の3原則の下に、自立したまちづくりを推進しております。

「所得税 + 住民税」の負担総額は基本的に変わりません

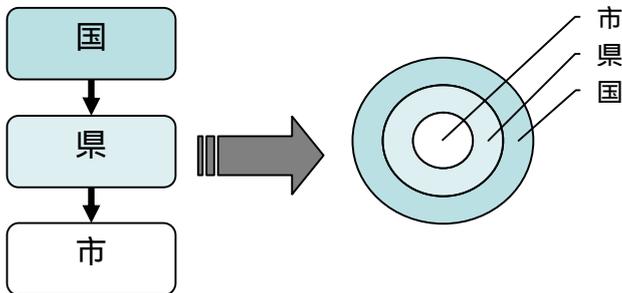
地方分権からガバナンス論へ

2000年に「地方分権一括法」が成立して、「国」と「地方」の関係は上下、主従から、対等、協力という立場で仕事をする事になりました。国と地方は法的に、上下関係がないと定められたのです。そのため、地方は、法の定める国の仕事以外は、自分たちの裁量で様々なチャレンジが出来るようになりました。昨今の政治システムであった官僚指導による「ガバメント(統治)」は、制度的な限界が近づいてきます。欧米などでは、「ガバナンス(協治)」という考え方もつよくなりました。そして、日本においても、地方分権と合わせて、「ガバナンス」が議論されるようになりました。

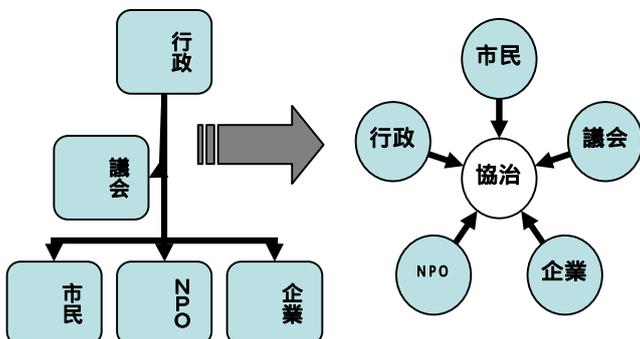
ガバナンスとは、自治体を構成する市民、行政、議会、NPO、企業などが、お互いの力を出し合って築くまちづくりです。行政だけに全てを任せるのではなく、出来ることは自分たちで行い、決めていくという発想です。ガバナンスは、言い換えると、調和型の社会です。しかし調和といっても「慣れあい、しがらみ」とは異なります。それは、交響楽団の奏でるシンフォニーを連想させます。

戸田市における市民参加のまちづくりは、始まったばかりです。これからの地方自治は、どのように変革していくべきなのでしょう。

地方分権 「上下・主従」から「対等・協力」の関係に



調和社会 「ガバメント(統治)」から「ガバナンス(協治)」



ガバナンス時代の機能する議会

地方分権が進むことによって、自治体の事務は重要度が増えている、当然、行政をチェックする議会の役割は、更に重要になっていくことでしょう。政治不信が叫ばれる今、議会は「行政府と立法府(議会)が均衡して相互に監視する」という二元代表制の根本理念に立ち返る必要があります。一方の機関である「首長」との適度な緊張関係のなか、自治体経営に携わる機関として、積極的に関与し、政治を行わなければいけません。「行政の追認機関」は終わったのです。

そして議員は、住民と行政のパイプ役という役割も大切ですが、政策立案、政策評価、そして議員立法という、本来の機能を発揮していかなければいけません。地方議員は名誉職から脱皮して、市民の福祉向上の為の機能に徹するべきであると思います。

行政は自立したミニ政府へ

行政は、自立した「政府」、そして「経営体」であるとの認識で運営していく必要があります。「お伺い行政」、「許認可行政」から、自立行政、サービス行政を展開していくべきです。戸田市職員は多彩な単独事業のノウハウなど、ソフトの財産が豊富な反面、他の自治体に比べてコスト意識の甘さを指摘されます。それらの弱点を踏まえ、ガバナンスの時代に堪えうる行政マンとして、汗かく市民のパートナーとして有能なパブリック・マネジメント役として 冷静に公平、公正な対応ができる公僕として、役割を適切に果たすべきだと考えます。

真の市民社会は市民発信から

地方分権は市民主役の改革です。市民参加なき、分権は「おまかせ民主主義」への逆コースになりかねません。市民は、行政に白紙委任しない事が望まれます。自らが暮らす地域の身近な問題について主体的に考え、自分のできることに取り組む市民の行動が何よりも大切です。そして、市民活動、NPO等の活動は、行政や企業に出来ない事を担う「第3の道」として、調和する市民社会を支える重要な役割になっていくものと、強く感じます。



東伊豆地区 風力発電システムを視察

議会報告

平成17年度第1回臨時会

今年は総務常任委員会の副委員長としてガンバリマス！！

2月6日～7日に行われた臨時議会では、2日間にわたり今年一年の議会内人事が決められました。今年の役職人事は、特に時間がかかりました。今まで経験したことのないほど長い2日間でした。初日はなんと明け方(3時過ぎ!)まで。その後、役職が決まり、「総務常任委員会の副委員長」を拝命しました。総務は、4つの常任委員会()中、最も多くの議案を審議をします。委員会では、しっかり自分の政策を提言していく決意です。また、議会だよりを編集して広報する「議会だより編集委員会委員」、市内土地等に関する審議をする「都市計画審議会委員」、同和対策について審議する「同和対策審議会委員」、そして、蕨市とゴミの集積や処理をする「蕨戸田衛生センター組合議員」を委嘱されました。

()4常任委員会とは、総務、健康福祉、文教建設、市民生活委員会のこと。議案の調査、審議は4分類され、議員がそれぞれの委員会に6～7人ずつ配される。

議案について

市長提出議案の議案として報告案件1件、条例案件2件、人事案件1件、計4件が上程され、全ての議案が賛成多数で可決されました。

議員提出議案はありませんでした。

主な議案から……

1号 市職員の給与を国の給与改革の基準に合わせる条例改定が行われました。

議会報告

平成17年度第2回定例会

初の討論に挑戦し、平成19年度予算が可決しました！

2月22日～3月23日に行われた、第2回定例会では、31日間にわたり、年度末の修正予算案や、主に次年度の予算が決められます。

議案について

市長提出議案の議案として報告案件1件、条例案件6件、規約案件3件、一般案件2件、18年度補正予算案件12件、19年度当初予算案件15件、人事案件1件、計42件が上程され、全ての議案が可決されました。

議員提出議案として5件が提出され、すべて可決されました。

市長提出議案の要旨(19年度予算案を除く)

8号 市職員の特殊勤務手当の見直しを行い、適正化をはかる

9号 10号 市の中小企業融資制度、商工業近代化資金融資制度の契約時に、融資先が個人の場合は原則として連帯保証人を不要とし、法人の場合は代表者を連帯保証人にする

13号 新曽ポンプ場の更新工事に係る請負契約(19億8000万円)。市初の設計、施工一括発注方式(総合評価一般競争入札)を採用。工期は平成23年3月28日まで

15号から 税収納システム再構築費用の追加補正予算(1億1900万円)

環境空間緑地整備に伴う用地購入費用の補正予算(3億0000円)

青少年の広場(とちのき広場)用地を土地開発公社から買い戻す補正予算(5億4500万円)

議員提出議案の要旨

2号 公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書(戸籍の公開を見直し、不正利用の罰則強化を盛り込んだ戸籍法改正を求める意見書)

3号 深刻な医師不足を打開し、「医療崩壊」から地域を守る意見書(産科、小児科の緊急対策、医師数の増員、勤務医保護、公的な保険や医療の充実、医師不足地域支援を求める意見書)

【平成19年度予算の概要】

一般会計 380億8000万円 (前年比1.9%増)

特別会計 263億5000万円 (前年比9.1%増)

合計 644億3000万円 (前年比4.7%増)

安心、安全 耐震補強事業(新曽小、美谷本小、笹目小、美笹中) 3億8000万円

福祉、環境 知的障害者小規模作業所整備(笹目教職員校舎跡地) 600万円

子育て、教育 民間保育所事業(北戸田駅前に保育所を設立) 1億2000万円

学校給食施設整備事業(美女木小の本工事、戸田東小の調査設計) 4億3000万円

公園、道路 下笹目住宅建替事業(市営住宅立て替え、平成21年11月完成) 5600万円

新曽土地区画整理事業(新曽第一、第二) 27億0000円

その他 市税収納率向上対策事業(インターネット公売等)700万円

市長が提出した19年度予算に対し、3議員から「修正案」が提出され、各会派から、原案に対する賛否、修正案に対する賛否を討論しました。すがわらは、原案に賛成、修正案に反対の立場で以下のように討論しました。

結果は、原案が可決され、修正案が否決されました。

討論の内容(抜粋)

平成19年度は、国が進める三位一体の改革が本格的に始動する年であり、戸田市にとっても、地方分権の流れにおいて、自立した自治体運営をスタートする、大変おおきな転換期を迎えています。歳入については歳入財源の確保に向けた、大変強い姿勢で臨む執行部の態度がうかがえます。歳出については市長の施政方針のもとに、教育施設をはじめとする公共施設の耐震補強対策、防犯対策の強化、子育て支援、高齢者や障害者に向けた福祉施策の強化、学校教育施設の整備、土地区画整理事業への取組み、地球温暖化対策等、環境問題への対応など、市民生活に直結した事業を積極的に推進する予算であると評価します。よって「議案第27号平成19年度戸田市一般会計予算」に賛成いたします。

次に、修正案についての反対討論であります。小学校における単独校調理場の整備については、給食センターの建替えとの関連はもとより、児童の食育面での効果が期待される場所であり、既に実施している単独調理校との関係からも、スケジュールどおり実施していくべきと考えます。執行部は「これまでの事業を省みて設置場所や構造、設備内容等を十分に精査しコスト縮減に努める」とのことであるので、今後の対応に期待しているところです。私は、子どもの教育を重視する立場から、「議案第27号平成19年度戸田市一般会計予算に対する修正案」に反対致します。

「共に成長するボランティア」と「健全なカンパ」を募集中！

すがわら文仁は、地盤、看板、カバンなし、ゼロから活動をはじめました。

一緒に活動する応援ボランティアと少額カンパを募集中です。ご連絡お待ちしております！

メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

巢鴨信用金庫 西浦和支店 普通口座 3113812 スガワラフミヒト コウエンカイ スガワラタカコ